

# 観光振興 箱根駅伝予選会誘致に ついて

次の2点について伺う。

1 平成20年10月に開催される第85回箱根駅伝予選会の誘致について



第80回 箱根駅伝予選会

2 前回の第80回大会の経験を活かして、誘致にあたりどのような課題があるか、また、誘致成功に

より、教育面・観光振興面に関する取り組みができるか

1 点目について、関東学生陸上競技連盟の廣瀬前会長から、「これからこの節日の大会は、箱根町で予選会を開催したい」という言葉もいただいております。町としても今後も伝統ある「箱根駅伝」を支援し続けていきたいと考えているので、第85回予選会についても、町内の関係団体や神奈川県警察など関係機関等のご理解とご協力をいただき、箱根での2回目の予選会開催に向けて、準備をしたいと考えています。

2 点目について、前段の「誘致にあたりどのような課題があるか」というのが、コースのあるかであるが、コースの一部区間の幅員が狭く、「前の選手を抜けない」とか「自分のペースで走れない」などの声の一部の選手から上がったということからも、選手たちが競技に集中することができ、舞台を整えることが、誘致にあたっての最大の課題である。また、コース選定のほかにも、第80回予選会の反省を踏まえた様々な課題があり、その一つ一つを確実に解決していきたいと考えています。

次に、後段の「誘致成功に際しては、教育面・観光振興面に関する取り組み」については、まず、教育面では、予選会の走路員、スタート・ゴール整理員、給水係などのボランティア

# 観光振興 訪れる人にやさしい箱根「実現 のために観光振興条例制定を について

次の2点について伺う。

1 観光振興条例の制定を図っていく必要

2 観光部と企画部との統合による企画観光部には、目標実現、また、やさしい箱根実現のために、具体的にどのような役割を持たせて事に当たらせていくのか

ア・スタッフの一員として、町内中学校等の生徒に参加していたことも、箱根ならではの教育につながるものと考えている。

なお、観光振興面に関する取り組みについては、あくまでも「箱根駅伝」の主役である選手や、箱根駅伝運営に携わる学生たちの側面からの支援、また、「箱根駅伝」の応援に訪れるお客様を温かく迎えるという姿勢を保ち、大会を成功に導くとともに、予選会に集まる選手や関係者、そして観戦者の皆さんを温かく迎えたい。

1 点目について、観光振興課において、一部

観光との係わりについてのアンケートを実施したところ、観光との係わりを肯定的に受け止めている様子も伺えたので、観光に生きる町全体の意思、共通認識を確認する観光振興の要、旗印として、観光振興条例を制定していくことも必要ではないかと考えている。

2 点目について、まず、企画担当部門としては、①平成19年度からスタートする第5次総合計画の施策を着実に遂行すること②最小の経費で最大の効果を念頭に、行政改革、財政再建を進め、合理的な行政運営を実現していくこと③新しい自治体運営の仕組みの構築を目指し、まちづくりの基本理念や住民、事業者、行政との協働のあり方や行政の基本理念を盛り込んだ「(仮称)住民自治基本条例」の策定を進めること④水資源・温泉資源の調査研究や自然保護施策を進めること等である。

次に、観光担当部門としては、①HOT21実施計画の中で、42のプロジェクトが提言をされ、一部には既に実現をみているが、残りのプロジェクトの具現化に向けた検討②国や県の動向を含めた観光振興に係わる情報の収集や町内観光関連事業者等への提供③観光振興施策立案に資するための顧客満足度など、各種市場調査の実施やその分析④団塊の世代の大量退職に伴う観光人口増を見据えた個別化を際立たせるためのホスピタリティの向上など着地サービスの充実策の検討⑤町観光協会等の民間の団体が取り組む観光振興のための活動への積極的な参加・支援⑥国内外メディアへの取材協力や外客誘致のためのプロモーション活動である。

以上の役割を履行し、住まう人にやさしい安全で安心なまちづくりを実現するための行政運営を進めるとともに、町の基幹産業である観光産業の伸展のための観光経営を一体として推進し、私の政策目標である年間200万人、宿泊客数500万人を達成するため邁進していきたいと思っております。